

泊原発審査「急がない」

北海道地震で
規制委員長 安全優先の考え

原子力規制委員会の更田豊志委員長は12日の定例記者会見で、地震による北海道内の電力供給不足に絡み、停止している北海道電力泊原発(泊村)の再稼働に向けた審査に関し「急がなければならぬ」とは毛頭考えていない」と安全性の確認を優先する考えを示した。

再稼働していれば道内全域の停電(ブラックアウト)にはならなかったとの一部指摘に対し「原発の安全確認と電力供給は別問題。規制委員の判断は左右されない」と反論。地震で泊原発が外部電源を一時喪失した事態に関しては「新規制基準では、外部電源が使えなくなるのを前提に安全対策を求めている」とし、想定範囲内だったと強調した。規制委員は今後、北海道の

地震に関する情報収集を進め、原発審査に反映させるべきものがあるかを精査する方針。